



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月3日

上場会社名 かどや製油株式会社 上場取引所 東
コード番号 2612 URL <https://www.kadoya.com>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）北川 淳一
問合せ先責任者 （役職名）常務執行役員コーポレート本部長 （氏名）佐藤 幹央 TEL 03-6721-6957
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	10,203	△3.4	1,397	10.1	1,450	17.0	983	17.8
2026年3月期第1四半期	10,566	10.0	1,267	13.9	1,239	△1.5	834	△1.6

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 849百万円（△5.1％） 2026年3月期第1四半期 895百万円（△1.5％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	35.63	—
2026年3月期第1四半期	30.23	—

（注）当社は2026年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	44,999	37,034	82.3
2026年3月期	47,346	37,440	79.1

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 37,034百万円 2026年3月期 37,440百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	137.00	137.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	0.00	—	47.00	47.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2026年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	20,000	△2.9	1,800	△26.7	1,850	△25.5	1,250	△26.0	45.26
通期	41,000	2.4	2,900	△24.0	3,000	△26.1	2,050	△24.7	74.23

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割後の発行済株式数を基準に算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	28,200,000株	2026年3月期	28,200,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	584,286株	2026年3月期	587,586株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	27,615,061株	2026年3月期1Q	27,609,798株

(注1) 当社は「株式給付信託（ＢＢＴ）」を導入しており、期末自己株式数には、信託に残存する自社の株式（2027年3月期第1四半期 27,759株、2026年3月期 31,059株、2026年3月期第1四半期 33,759株）を含めております。また、期中平均株式数は当該信託が保有する株式を考慮して計算・記載しております。

(注2) 当社は2026年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

尚、上記予想に関する事項は添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は、T D n e t で本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは、中期経営計画の達成に向けて、2025年4月に策定したパーパス・ビジョン・バリューを経営の判断軸とし、「ファンベース経営」の本格的な推進に努めてまいりました。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、販売数量が前年同期比4.3%減少した一方、販売単価が同0.9%上昇し、数量減を主因として前年同期比3.4%減の10,203百万円となりました。

利益面では、副資材代や人件費が増加したものの、販売数量の減少に加え、製品単位当たりの原価改善等により、売上原価は前年同期を下回りました。また、販売費及び一般管理費は、経営基盤の強化や業務改善等に向けた外部専門家費用、人件費及び物流費の増加により、前年同期を上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、営業利益：1,397百万円（前年同期比129百万円増）／経常利益：1,450百万円（前年同期比211百万円増）／親会社株主に帰属する四半期純利益：983百万円（前年同期比149百万円増）となり、減収増益となりました。

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、中東情勢の緊迫化や米国の通商政策をめぐる不確実性等により、先行き不透明な状況が続きました。また、エネルギー・資材価格や物流費、為替の変動等を通じて、食品メーカーを含む製造業全般の収益環境にも影響が及びました。

わが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復が続いたものの、物価上昇により生活者の購買判断は引き続き慎重なものとなりました。

食品業界においては、原材料価格、人件費、物流費及び包装資材費等の高止まりを背景に、価格改定の動きが業界全体で継続しました。そのような中、消費者の節約志向と企業側のコスト転嫁圧力が併存する厳しい事業環境となりました。一方で、食品を含む日常消費においては、価格に対する意識が高まる中でも、品質、利便性、健康志向などの付加価値を重視する動きがみられました。また、外食需要は、インバウンド需要が引き続き高い水準にあることなどを背景に、底堅く推移しました。

このような環境下において、当社グループは、単なる価格競争に依存するのではなく、「純正ごま油」の香りや風味、使い方などの商品価値を生活者に分かりやすく伝える取組を進めました。家庭用では、価格上昇局面においても選ばれるブランドとなるべく、使い方の提案や商品価値を体験いただく接点の拡大に取り組みました。また、業務用では用途に応じた提案活動を進め、輸出用では北米既存市場の深耕及び新規販路の開拓に取り組みました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1) ごま油事業

1. 国内事業

(1) 家庭用

家庭用では、食品価格の上昇等を背景に生活者の購買判断が慎重化する中、販売が堅調に推移し、販売数量は前年同期比で増加しました。また、「純正ごま油」の香りや風味、使い方への理解促進を目的として、全国9都市を巡回するキッチンカー施策を前期から当期にかけて実施しました。「かける」使い方を中心に、純正ごま油の魅力を体験いただくことで、価格訴求に偏らないブランド価値の理解促進に取り組みました。

(2) 業務用

業務用では、外食向けが総じて堅調に推移したほか、加工ユーザー向けについても一定の需要を確保したことから、販売数量は前年同期比で増加しました。

2. 海外事業（輸出用）

輸出用では、前年同期に米国の関税発動前の駆け込み需要による一時的な押し上げがあったため、その反動により販売数量は前年同期を下回りました。一方で、当該一過性要因を除いた需要の基調は底堅く推移しており、北米既存市場の深耕に加え、主要卸店向けの販売促進施策や、中南米、APAC及びEMEAにおける新規販路の開拓に取り組みました。

以上の結果、ごま油事業全体では販売数量が前年同期比2.9%減、売上高は前年同期比5.0%減の7,917百万円（前年同期比423百万円減）となりました。また、2026年4月にSCM本部を新設し、サプライチェーンの強靱化に向けた取組を開始しました。こうした取組を進める中、エネルギー・資材価格等が高い水準で推移したものの、売上原価は前年同期を下回りました。その結果、セグメント利益は1,261百万円（前年同期比117百万円増）となりました。

2) 食品ごま事業

食品ごま事業では、消費者の節約志向を背景に家庭用PB商品の販売が好調に推移したほか、加工ユーザー及びスーパー惣菜向けの食品ごまや、外食向けのねりごまの販売が増加しました。

その結果、販売数量は前年同期比2.7%増、売上高は前年同期比2.9%増の2,283百万円（前年同期比65百万円増）となりました。販売構成の変化や各種コストの増加等があったものの、販売数量の増加に伴う増収効果により、セグメント利益は134百万円（前年同期比13百万円増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2,346百万円減少しました。これは原材料及び貯蔵品が799百万円、受取手形及び売掛金が749百万円、投資その他の資産が387百万円、現金及び預金が360百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1,940百万円減少しました。これは未払法人税等が551百万円、賞与引当金が526百万円、支払手形及び買掛金が349百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ406百万円減少しました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益983百万円の計上と配当金の支払い1,262百万円の加減算により利益剰余金が278百万円、その他有価証券評価差額金が133百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月13日に公表しました業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,983	11,622
受取手形及び売掛金	9,387	8,638
商品及び製品	2,230	2,379
仕掛品	1,638	1,467
原材料及び貯蔵品	8,684	7,885
その他	479	595
流動資産合計	34,404	32,589
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	4,340	4,266
機械装置及び運搬具 (純額)	1,698	1,561
その他	3,413	3,464
有形固定資産合計	9,452	9,292
無形固定資産	44	59
投資その他の資産	3,445	3,057
固定資産合計	12,941	12,409
資産合計	47,346	44,999
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,662	3,313
未払法人税等	815	263
賞与引当金	720	193
役員賞与引当金	160	31
株式給付引当金	6	—
その他	2,298	1,985
流動負債合計	7,663	5,787
固定負債		
退職給付に係る負債	1,707	1,672
役員株式給付引当金	40	42
株式給付引当金	2	3
資産除去債務	234	234
その他	257	224
固定負債合計	2,241	2,177
負債合計	9,905	7,964
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,160	2,160
資本剰余金	3,067	3,067
利益剰余金	32,202	31,924
自己株式	△1,353	△1,347
株主資本合計	36,076	35,804
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,233	1,099
繰延ヘッジ損益	28	27
為替換算調整勘定	4	6
退職給付に係る調整累計額	97	96
その他の包括利益累計額合計	1,364	1,230
純資産合計	37,440	37,034
負債純資産合計	47,346	44,999

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	10,566	10,203
売上原価	7,648	6,929
売上総利益	2,918	3,273
販売費及び一般管理費	1,650	1,876
営業利益	1,267	1,397
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	24	25
為替差益	—	23
雑収入	3	5
営業外収益合計	28	54
営業外費用		
支払利息	0	0
支払手数料	0	0
為替差損	55	—
雑損失	0	0
営業外費用合計	56	0
経常利益	1,239	1,450
税金等調整前四半期純利益	1,239	1,450
法人税、住民税及び事業税	222	236
法人税等調整額	182	230
法人税等合計	404	466
四半期純利益	834	983
親会社株主に帰属する四半期純利益	834	983

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	834	983
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23	△133
繰延ヘッジ損益	37	△1
為替換算調整勘定 (税引前)	—	1
退職給付に係る調整額	△0	△1
その他の包括利益合計	61	△134
四半期包括利益	895	849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	895	849
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,239	1,450
減価償却費	271	245
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△452	△526
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△107	△129
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△3	△37
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	2	2
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	0	△5
受取利息及び受取配当金	△24	△25
支払利息	0	0
支払手数料	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	213	749
棚卸資産の増減額 (△は増加)	126	820
その他の資産の増減額 (△は増加)	128	△106
仕入債務の増減額 (△は減少)	704	△350
その他の負債の増減額 (△は減少)	△101	△516
小計	1,998	1,572
利息及び配当金の受取額	24	25
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△545	△761
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,477	836
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
有形固定資産の取得による支出	△110	△100
有形固定資産の除却による支出	△1	△1
貸付金の回収による収入	0	0
保険積立金の積立による支出	△0	△0
その他	△6	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△121	△118
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△0	△1
自己株式の処分による収入	—	6
配当金の支払額	△788	△1,084
財務活動によるキャッシュ・フロー	△789	△1,080
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	566	△360
現金及び現金同等物の期首残高	7,881	11,983
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,447	11,622

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合 計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	8,341	2,218	10,560	6	10,566
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	8,341	2,218	10,560	6	10,566
計	8,341	2,218	10,560	6	10,566
セグメント利益	1,143	120	1,264	3	1,267

(注) 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,264
「その他」の区分の利益	3
四半期連結損益計算書の営業利益	1,267

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合 計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	7,917	2,283	10,201	1	10,203
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	7,917	2,283	10,201	1	10,203
計	7,917	2,283	10,201	1	10,203
セグメント利益	1,261	134	1,395	1	1,397

(注) 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,395
「その他」の区分の利益	1
四半期連結損益計算書の営業利益	1,397

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。